

科目名 (科目番号)	臨床薬理学 (061211)	教員名 幸田幸直	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		在室時	第一キャンパス・研究棟	
授業概要	薬物および薬物治療に関する基礎的な知識を習得する。①薬物は生体にどのように作用するのか、②投与された医薬品は体内でどのように変化するのか、③医薬品の取り扱いにはどのような注意が必要かなどについて、医療の現場で使われている医薬品を中心に学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	薬理学を学ぶにあたって	到達目標: 薬物とはなにか、薬理学のなりたち、薬物の使用目的などを理解する。 学習内容: 医療における薬物治療の位置づけについて学習する。				
	2	薬力学	到達目標: 薬物受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーターなどを理解する。 学習内容: 薬物が作用するしくみについて学習する。				
	3	薬物動態学	到達目標: 薬物の血中濃度、投与経路、吸収・分布・代謝・排泄などを理解する。 学習内容: 薬物の体内での動きについて学習する。				
	4	抗感染症薬、抗がん薬	到達目標: 抗菌薬、抗ウイルス薬、抗がん薬などを理解する。 学習内容: 感染症治療薬と化学療法薬について学習する。				
	5	末梢神経系作用薬	到達目標: 交感神経・副交感神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬などを理解する。 学習内容: 自律神経系作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬について学習する。				
	6	中枢神経系作用薬	到達目標: 全身麻酔薬、催眠薬、抗精神病薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬などを理解する。 学習内容: 中枢神経系に作用する薬物について学習する。				
	7	循環器系作用薬	到達目標: 抗高血圧薬、抗不整脈薬、脂質異常症用薬、血液系作用薬などを理解する。 学習内容: 心臓・血管系に作用する薬物について学習する。				
	8	呼吸器用薬、消化器用薬	到達目標: 気管支喘息用薬、消化性潰瘍用薬、制吐薬、止痢薬などを理解する。 学習内容: 呼吸器系や消化器系に作用する薬物について学習する。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	系統看護学講座 薬理学		吉岡充弘、泉 剛、井関 健、横式尚司、菅原 満 著			医学書院	
参考図書	臨床薬理学		日本臨床薬理学会 編集			医学書院	
教員からのメッセージ	基本的な重要事項は反復して学習し、知識の応用が効くように、系統的理解に努めてください。プリントを併用するようにしますので、活用してください。						